

アジアの精神障害者の運動——近代西洋的精神医療体制の確立した地域としていない地域の連帯

伊東香純（立命館大学）

◆email: itokasumi24@gmail.com, ◆web: <http://www.arsvi.com/w/ik17e.htm>

1. これまでの精神障害者の運動の研究

精神障害者の活動についての研究は、精神医療体制の確立した地域を主な検討の対象としてきた。

先行研究は、精神障害者の活動を大きく

◆ **自助活動**：助け合いの活動

◆ **政治活動**：社会変革のための活動

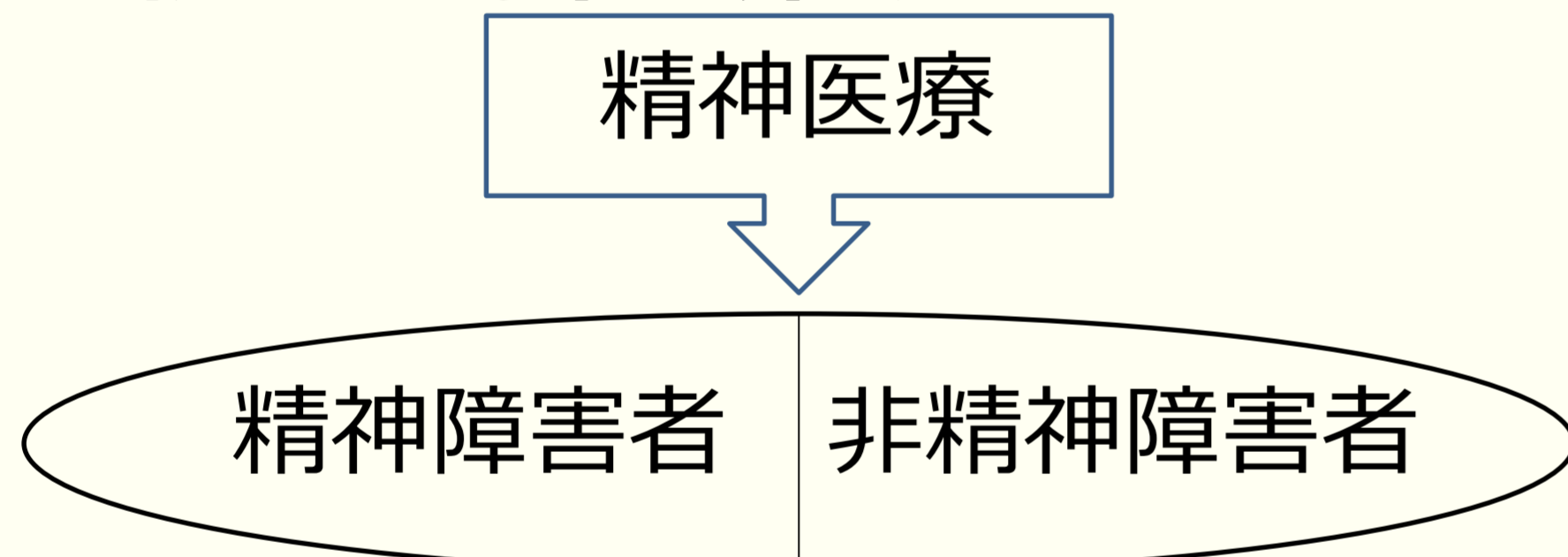
の2つに分類してきた。

その中でも研究の対象とされてきた活動は、比較的小さい（範囲が狭い）規模の自助活動である。政治活動については、米国と英国の1970年代以降の社会運動の歴史が検討されてきた。

2. 先行研究の問題点

近代西洋的な精神医療体制の確立していない地域の精神障害者の運動は検討の対象とされてこなかった。このため、精神医療体制の確立していない地域でも、精神障害者の活動は自助活動と政治活動に分類できるのかは明らかにされてこなかった。

先行研究の前提にある社会状況：



精神障害者とそうでない人が精神医学的診断によって区別され、診断を根拠に抑圧がなされる

3. 目的と方法

本報告は、西洋近代的な精神医療体制の確立した地域とそうでない地域の精神障害者が連帯した組織がどのような活動を展開してきたのかを明らかにすることを目的とする。そのための方法として、TCI Asiaの活動を検討の対象とする。

グローバルな精神障害者の草の根運動

- 1991 World Federation of Psychiatric Users (WFPU) 発足
European Network of Ex-Users and Users in Mental Health 発足
- 1997 World Network of Users and Survivors of Psychiatry (WNUSP) 名称変更
European Network of (Ex-)Users and Survivors of Psychiatry (ENUSP) 名称変更
- 2005 Pan-African Network of Users and Survivors of Psychiatry (PANUSP) 発足
- 2006 障害者権利条約の採択
- 2011 Pan-African Network of People with Psychosocial Disabilities 名称変更
- 2014 Transforming Communities for Inclusion – Asia (TCI Asia) 発足

4. TCI Asiaの活動

TCI Asia：アジアの15か国の精神障害者と障害種別をこえた支持者の組織

これまでの活動：

◆第19条の一般的討議に意見を提出した

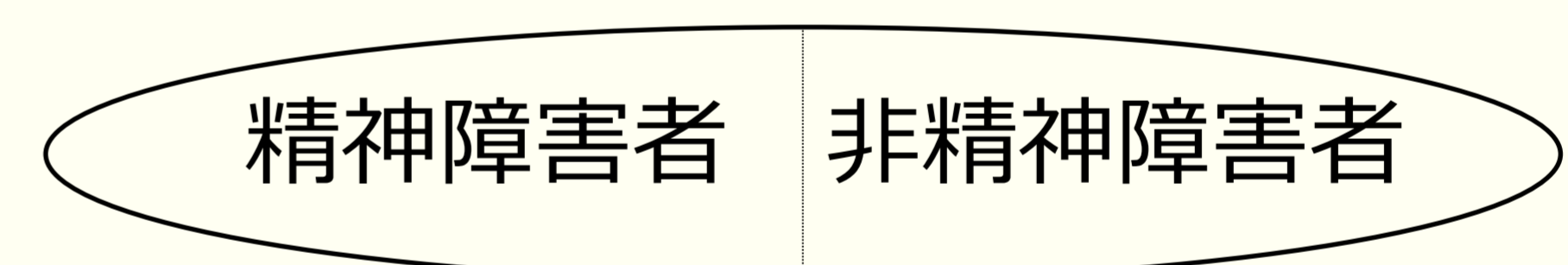
「第19条の網羅性は、他の者との平等を基礎としてすべての障害者の十分に効果的な参加も保障しながら、すべての人にとってインクルーシブな世界をもたらします。」

「アジアの収入の低い国にも、危機的状況（中略）に陥ったときの「よい実践」の例が存在します。（中略）あるプログラムは、訓練を受けた公式でないケアの提供者、地域社会のメンバー、家族のメンバーといった多様な人を巻き込んで、危機的な状況への支援を必要とするかもしれない人とともにいるための「ご近所の警戒」のシステム設置し、「ケアの輪」を提供します。」

◆ Learning Institute：

意図的なピアサポート、オープンダイアログなどの欧米のやり方を学びつつ、それを自分たちの文化に合わせる。また、楽器を使ったコミュニケーションなどアジアの文化を共有する。

精神医療体制が確立していない地域の社会状況：



抑圧が精神医学的な正当化なく、コミュニティでおこなわれている。

障害者権利条約において重視される条文

◆ **WNUSP**：障害者権利条約の交渉の最大の成果は**第12条**（法律の前にひとしく認められる権利）

◆ **TCI Asia**：第19条（自立した生活及び地域社会への包容）のアジア地域での実現に向けて活動する

5. 結論

精神障害者の社会運動は、両者が関係しあっていることは指摘されつつも、これまで自助的な活動と政治活動の大きく2つに分類されてきた。しかし、TCI Asiaの運動では、両者ははつきりとは分離していない。自助活動を普及させることが政治活動の大きな部分を占めている。これは、アジアには、精神医学的診断を伴わない抑圧が少なからずあるためだと考えられる。そのような状況を、精神医療を改良あるいは廃絶で変革することは難しい。アジアには、韓国や日本など精神医療体制の確立した地域もあるが、地域社会の変革はそのような地域とも共有できる活動の戦略である。TCI Asiaの活動は、自助活動によって自分たちを抑圧している地域を変革していく活動であるといえる。

【参考文献】 ◆Tci-Asia, 2016, "Submission to the UNCRPD Monitoring Committee, Day of General Discussion, Article 19: Executive Summary" ◆Tci-Asia, 2017, "Final Narrative Report, October 2015- March 2017" ◆WNUSP, 2008, "Implementation Manual for the UN Convention on the Rights of Persons with Disabilities"